

スタイロフォーム
二次加工品
「スタイロパネル」シリーズ

スタイロフォームの物性表

製品名		スタイロフォームIB	スタイロフォームB2	スタイロエース-II
JIS 種類	JIS A 9511:2006R	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板1種b	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板2種b	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b
	JIS A 9521:2014	押出法ポリスチレンフォーム断熱材1種bC	押出法ポリスチレンフォーム断熱材2種bA	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA
密度	kg/m ³	20以上	25以上	25以上
熱伝導率	W/(m・K)	0.036以下	0.034以下	0.028以下
透湿係数 (厚さ25mm当り)	ng/m ² ・s・Pa	145以下	145以下	145以下
圧縮強さ	N/cm ²	16以上	18以上	20以上
曲げ強さ	N/cm ²	20以上	20以上	20以上
燃焼性	—	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない合格		
吸水量	g/100cm ³	0.01以下	0.01以下	0.01以下
加熱変形温度	℃	80	80	80
線膨張係数	cm/cm・℃	7 × 10 ⁻⁵	7 × 10 ⁻⁵	7 × 10 ⁻⁵
酸素指数	—	26以上	26以上	26以上
ホルムアルデヒド放散区分	—	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級

※スタイロフォームは全て「ノンフロン」製品です。
※酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取扱いにより指定可燃物となります。

参考：「公共住宅建設工事共通仕様書」における、S1工法に用いる断熱材は特記がなければ、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA又はA種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bとされています。

スタイロフォームの標準サイズ

単位 (mm)

	スタイロフォームIB	スタイロフォームB2	スタイロエース-II
厚み	20・25・30・40・50	20・25・30・40・50	20・25・30・35・40・45 50・55・60・65・75・100
幅	910	910	910
長さ	1820	1820	1820

※一部の銘柄については、販売地域が限定されます。また、上記以外のサイズもございますのでお問い合わせください。

注意事項

- スタイロフォーム**は、燃焼遅延剤を添加して、微少火源では着火しにくくしてありますが、燃える性質があります。保管、施工、特に溶接溶断に当たっては火気に十分ご注意ください。
- スタイロフォーム**は、多くのプラスチックと同様に紫外線によって劣化します。直射日光に長時間さらすと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因となりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
- スタイロフォーム**は、酸、アルカリに対しては安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択及び木造住宅での防蟻、防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれぞれのメーカーにお問合わせください。
溶剤を使って作業する場合は十分に換気し、火気を使用しないでください。
- スタイロフォーム**の使用温度は80℃以下です。80℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけてください。
- スタイロフォーム**は、局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。
- スタイロフォーム**は、軽量で取り扱いが容易な反面、風にあおられやすいので、強風下での作業は行わないでください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

その他の注意

- 1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらずに流水で洗浄してください。
- 2) 熱線スライス等の煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分に行ってください。
- 3) 廃棄の際には、法令に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
- 4) 鳥・鼠・昆虫等によって損害を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。



Building Solutions

スタイロフォーム
二次加工品

「スタイロパネル」シリーズ

styrofoam



ダウ化工



本社 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目2番24号 天王洲セントラルタワー11階 ☎03(5460)2390
●大阪事務所 ☎06(4807)1503 ●北海道営業所 ☎011(299)3852 ●東北営業所 ☎022(267)8891 ●九州営業所 ☎092(714)7250

ぜひご利用下さい。フリーダイヤル ☎0120-113210 (イミズイロ)
<http://www.dowkakah.co.jp>
© TMはザ・ダウ・ケミカル・カンパニー・ダウ化工(株)の商標

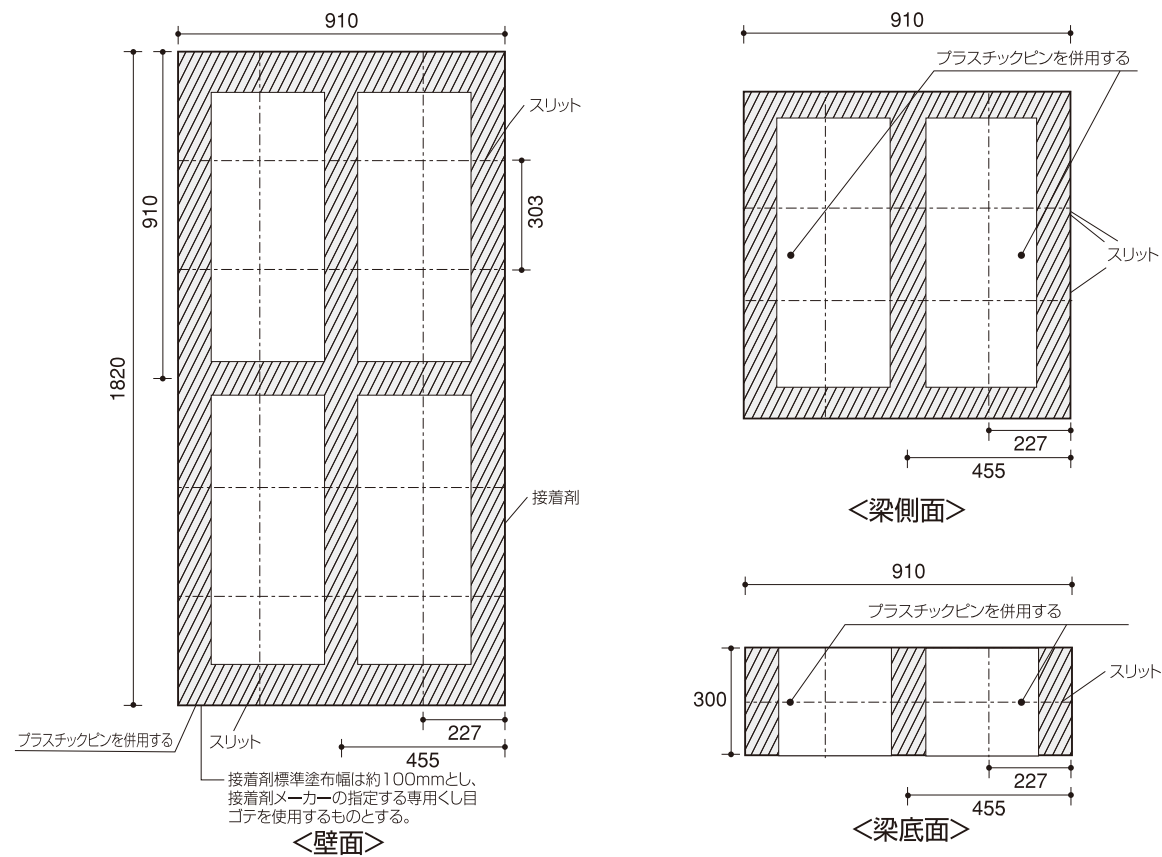
わかりやすい技術情報や最先端の研究成果を紹介！
検索

コンクリート下地に、接着剤を使用して直張りする最も一般的な工法で、防露工事と内装下地工事が同時にできます。

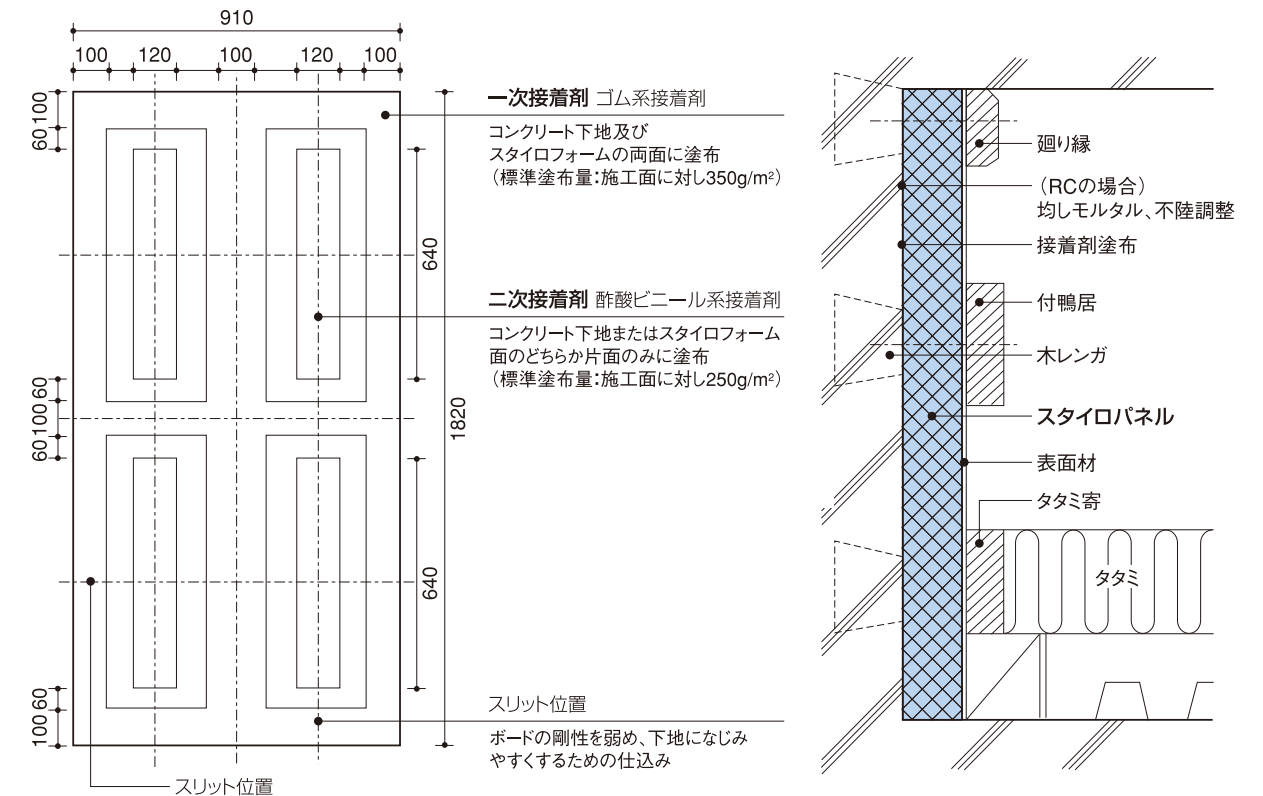
- 貼り込みは、あらかじめ割付図を用意しておくとう便利です。目地には隙間があかないように、丁寧に圧着してください。
- 不陸がある場合は、不陸調整をしてください。(長さ2mに対して3mm以内の凹凸)
- 圧着後、接着剤塗布部分に当て木をして木づちで叩いてください。

直張り施工法(S1工法:公共住宅建設工事共通仕様書より)

■ 接着剤の塗布およびスリット位置(1液・無溶剤仕様、単位mm)



■ 接着剤の塗布およびスリット位置(2液・併用仕様)



■ 推奨接着剤

接着剤の種類	商品名(S1工法専用接着剤)	製造会社
一液・無溶剤型(注) 変成シリコン樹脂系接着剤	セメダイン PM525 ボンド KMP10 タイルメント MS-850	セメダイン(株) コニシ(株) (株)タイルメント

(注) 変成シリコン樹脂系を主成分とし、有機溶剤中毒予防規則に定める有機溶剤を5%以上含有しないもので、消防法上における危険物に該当しないものであること。

■ 使用接着剤

	接着剤の種類	商品名(旧S1工法専用接着剤)	製造会社
一次接着剤	再生ゴム系溶剤型	セメダイン G-700 タイルメント R-850 ボンド G2002	セメダイン(株) (株)タイルメント コニシ(株)
二次接着剤	酢酸ビニル樹脂系溶剤型	セメダイン R-194 タイルメント T-550 ボンド K110	セメダイン(株) (株)タイルメント コニシ(株)

直張り施工手順

